

八尾モール株式会社経営状況報告

八尾モール株式会社の経営状況につきまして、ご報告申し上げます。

八尾モール株式会社は、近鉄大阪線高架下及び旧駅跡地の店舗並びに関連用地の建設、管理、運営及び賃貸借並びに経営に関する業務を行うことを目的に、昭和 49 年 8 月 12 日に設立し、現在、高架下店舗数 70 店舗の賃貸事業を主に、近鉄大阪線八尾駅高架下の周辺地域における商業集積の活性化に努めているところです。

空き店舗数について、第 50 期末時点で、12 店舗となりました。引き続き空き店舗の減少に努め、業績の向上に努めております。

まず初めに、第 50 期の決算につきまして、別冊決算報告書に基づき、ご報告を申し上げます。

5 ページの貸借対照表についてご説明申し上げます。

資産の部につきましては、流動資産 4 億 6,676 万 1,776 円、固定資産 3 億 355 万 9,348 円となり、資産合計は 7 億 7,032 万 1,124 円でございます。

負債の部といたしましては、流動負債 5,943 万 7,314 円、固定負債 1 億 4,057 万 307 円で、負債合計は 2 億 7,621 円でございます。

純資産の部といたしましては、資本金 1,000 万円、利益剰余金 5 億 6,031 万 3,503 円で、純資産合計 5 億 7,031 万 3,503 円となり、負債、純資産の合計は 7 億 7,032 万 1,124 円でございます。

次に、6 ページから 7 ページまでの損益計算書につきましては、売上高は、預り保証金返

還不要分の減少等により、2 億 5,213 万 5,318 円、売上原価は、共同水道光熱費の減少により、1 億 8,233 万 345 円、販売費及び一般管理費は、給料手当の減少等により 5,680 万 2,152 円でございます。この結果、営業利益は 1,300 万 2,821 円となり、営業外収益 575 万 97 円、営業外費用 22 万 2,660 円を加えた経常利益は、1,853 万 258 円でございます。当期純利益といたしましては、環境設備引当金取崩益 3,874 万 1,100 円、貸倒損失 4,701 万 6,449 円、法人税等 541 万 9,734 円を差し引いた結果、483 万 5,175 円でございます。

なお、8 ページの株主資本等変動計算書に記載のとおり、前期繰越利益を加えた繰越利益剰余金は 3 億 5,781 万 3,503 円となっております。

続きますのは、令和 6 年 10 月 1 日を始期とする第 51 期の予算および事業計画について、別冊予算及び事業計画書に基づき、ご報告申し上げます。

2 ページの予算計画について、ご説明申し上げます。

売上高は 2 億 5,688 万円であり、売上原価は 1 億 8,230 万円、販売費及び一般管理費は 6,500 万円、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を除いた営業利益は 958 万円を計画しております。営業利益に、営業外収益 380 万円を含めた経常利益は 1,338 万円となっております。

以上、八尾モール株式会社の経営状況の報告といたします。